

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

市内で TICAD7 の PR 特集 2018 秋版
平成 30 年 12 月 4 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【礪子まつりで西アフリカ楽器「カリンバ」に触れる子供たちの様子】

礪子まつりの国際交流推進イベントで、礪子区地域振興課と連携して「TICAD7」をPRしました

9月30日、礪子センター内体育館で「アフリカのリズム体験ワークショップ」が開催されました。

「手作り打楽器コーナー」では西アフリカの楽器であるジャンベ、カリンバ、アサラトをコップやピン止めなど身近なものを使ってつくる無料ワークショップが行われ、子供からお年寄りまで多くの方にご参加いただきました。



「リズムセッションコーナー」では西アフリカ出身のミュージシャンであるオズワルドとタブーによる参加型のミニコンサートが行われ、会場を盛り上げました。予定していなかったコラボ演奏やアフリカの遊びが始まるといった開放的な雰囲気のなか、アフリカンリズムを自由に楽しみ、アフリカを身近に感じられるワークショップでした。

会場である体育館入り口のポスター掲示を通じて、第7回アフリカ開発会議開催をPRしました。

神奈川区民まつりにて神奈川区区政推進課と連携し、「TICAD7」をPRしました

10月7日、神奈川区民まつり開催に合わせ、神奈川区総合庁舎別館にて「TICAD7」のPRブースが設けられました。



会場には横浜とアフリカの技術協力や支援体制についてのパネルが展示されました。アフリカを身近に感じてもらうためにJICA発行「AFRICA NOW」のパンフレットや民族楽器（レインスティック）も置かれ、子ども達が雨粒のようなチョロチョロという音を楽しみました。

また、会場となった反町公園の屋台ブースには横浜市水道局も出店し、TICAD7のPRとして横浜市のオフィシャルウォーター「はまっ子どうし The Water」のTICAD7ボトルの販売も行われていました。公園内ではこまめな水分補給が呼びかけられ、TICAD7ボトルを手を持つ人の姿が多く見られました。

しんよこフットボールパークで「TICAD7」をPRしました

10月13日、日産スタジアムに隣接するしんよこフットボールパークで「第1回港北カップ・タグラグビー大会」が開催されました。



タグラグビーとは、タックルの代わりにタグを取るというラグビー初心者向けの球技で、来年ラグビーワールドカップの決勝戦を控える日産スタジアム周辺では特に注目のスポーツです。会場では小学生56名が9チームに分かれ、いきいきとタグラグビーを楽しんでいました。



そのようなホットな場で、同じく来年8月横浜で開催される第7回アフリカ開発会議(TICAD7)に関するパネル展示や、チラシ・はまっ子どうし TICAD7 ボトルの配布を行い、タグラグビー大会を通じて TICAD7 横浜開催をPRしました。